

宮城の明るい未来を
目指して

東日本大震災から10年。インフラの整備や災害に強いまちづくりなど、ハード面については多くの地域で取組が完了し、着実に復興が進んでいます。一方で、被災者支援などソフト面の取組については、引き続き一人ひとりに寄り添ったきめ細かな支援が必要です。

また、今後、本県において本格的に進む人口減少に伴う諸課題への対応や持続可能な社会づくり、さらには、大規模化・多様化する自然災害や新型コロナウイルス感染症への対応といった時代の転換点に直面する中、その先にある宮城の明るい未来を描いていくことが求められています。

このため県では、令和3年度を初年度とする「新・宮城の将来ビジョン」を策定し、県政運営の理念に「富県躍進！“PROGRESS Miyagi”」を掲げ、富県宮城を更に発展させるとともに、SDGsの理念を県政に反映させ、持続可能な地域社会づくりに取り組んでいきます。

震災からの復興を成し遂げ、元気で躍動する宮城を実現するためには、未来に向かって前向きに粘り強くチャレンジする多くの仲間が必要です。

ぜひ一緒に宮城の明るい未来を創り上げていきましょう！

宮城県知事 村井 嘉浩



DATA

宮城県の面積 / 7,282 km²
市町村数 / 14市 20町 1村
人口 / 2,280,918人(令和3年1月末現在)
世帯数 / 1,016,806世帯(令和3年1月末現在)



CONTENTS

- 01 宮城県知事からのメッセージ
- 02 MIYAGIのミライトーク
- 05 先輩職員からのメッセージ
- 07 職種紹介
- 09 宮城県職員のワーキングスタイル
- 11 キャリアパスインタビュー / Q&A
- 12 宮城県の組織
- 13 採用 / 待遇と勤務 / 福利厚生
- 14 研修制度 / 令和2年度宮城県職員採用試験・選考考査実施結果

MIYAGIのミライトーク

富県宮城の力の更なる発展を目指す



経済商工観光部 新産業振興課 菅野 祐揮

多様な主体と連携し

宮城の地域を元気にしたい



農政部 農山漁村なりわい課 日影 あゆ美

Talk

次世代も安心して暮らせる

持続可能な地域社会を創る



震災復興・企画部 震災復興政策課 澁谷 彰人

県民のより良い暮らしを支えるため、日々果敢に挑戦する先輩たち。彼らはどんな想いで未来を見つめているのでしょうか。3人の先輩が熱く語り合いました。

東日本大震災から10年 復興の完了に向けて

澁谷 震災から10年が経ちましたが、この10年を振り返ってみていかがですか。

菅野 やはり発災直後のことが一番印象に残っています。私は短期派遣で被災自治体に応援に行きましたが、被災地は本当に混乱した状況だったことを覚えています。10年が経過し、インフラ整備や災害に強いまちづくりは、多くの地域で取組が完了しました。被災地の復興した「今」を、ぜひ全国の方に見ていただきたいですね。

日影 私は、全国のたくさんの方から御支援をいただいていることが印象的です。応援に来てくださった他自治体職員の

方とのつながりもできました。ただ、被災された農林漁業者の生産力回復などの支援は今後も必要だと感じています。

菅野 そうですね。宮城県震災復興計画は令和2年度で終期を迎えましたが、被災された方の心のケアやコミュニティ再生などの残された課題に、引き続きしっかりと取り組んでいかなければなりません。

日影 澁谷さんは「新・宮城の将来ビジョン」の作成に携わったと聞きましたが、こうした課題についてはどうですか。